

<様式一覧>

様式番号	様式名	活用方法・注意事項	
(様式1)	複合プログラム 実施計画書	アセスメント	事前アセスメント実施時に目標設定につながりそうな参加者の声や教室開催前の個別訪問を通じて、気になったことをなどを記入
		目標の設定 (本人の希望)	(様式5)〇〇さんのいきいきプラン(仮称)から転記
		目標の設定 (スタッフの目指す目標)	上記、本人の希望する目標を参考に、スタッフから見て必要な内容を盛り込んだ本人の目標を設定して記載する
(様式2)	複合プログラム 評価・モニタリング記録	運動機能	握力・開眼片足立ち・Timed Up & Go Testを実施 (必要に応じて、つぎ足歩行・長座位体前屈も実施)
		口腔機能	・RSSTについては、咽頭挙上の状態確認が困難な場合は、必ずしも30秒間の咽頭挙上回数に固執せず、「唾液が出て飲み込みができていくかどうか」の視点で確認する ・オーラルディアドコキネシスについては、パタカの回数を他人と競うのではなく、発音の正確さに気を付けて評価する
		栄養改善	(様式4)食生活チェックシートから読み取る
		目標の達成	(様式1)複合プログラム 実施計画書の目標設定欄に記載した内容の達成度を確認する
(様式3)	自己チェックシート	事前・事後アセスメントで使用。一斉読み上げ・記入方式で時間短縮の工夫を図る。	
(様式4)	食生活チェックシート	事前・事後アセスメント(栄養)で使用。 【事前】1回目に配布、自宅で記入し持ってきてもらう。3回目のプログラムでバランスのよい食事の大切さについて学びながら、各自で評価する。 【事後】10回目に配布、自宅で記入し持ってきてもらう。本人に事前時との比較をしてもらい、評価する。(可能であれば、市町(県保健所)栄養士又は在宅栄養士等にコメントを記入してもらい、栄養教育とする。)	
(様式5)	〇〇さんのいきいきプラン(仮称)	1年後や3か月後の目標を書いてもらう。グループワークで行うなど、楽しく目標設定できるような環境づくりをし、具体的な目標となるよう支援する。	
(様式6)	〇〇さんの毎日いきいきノート(仮称)	家での取り組みを記す様式。回収→スタッフがコメント記載して返却する、シールを貼るなど、個人のモチベーションが上がるようなしなかけを	

参考資料1	さあはじめよう！お口の体操	健口体操の資料
参考資料2	あなたは豊かな食生活をしていますか？	県指針P80 低栄養予防のための食生活のポイント20ヶ条をQ&A方式にしたもの
参考資料3	個別評価シート	参考に、新居浜市の例を示す

<評価の視点>

○目標の達成

目標達成度	いきいきプランに書かれた目標が、事業参加やホームプログラムの実践等を経て、どこまで達成できたか、確認する
-------	--

○各領域の客観的評価

運動機能向上度	運動アセスメント項目の事前・事後の内容を比較して評価
口腔機能向上度	口腔アセスメント項目の事前・事後の内容を比較して評価
栄養改善度	食生活チェックシートの事前・事後の内容を比較して評価
基本チェックリスト点数の変化	基本チェックリストの事前・事後の内容を比較して評価
自己チェックシート内容の変化	自己チェックシートの事前・事後の内容を比較して評価

○主観的評価

主観的健康感	自己チェックシートより確認
自己効力感	自己チェックシートより確認

○総合評価

自覚的变化(行動変容の習慣化)	この事業に参加して、生活習慣になにか変化があったか 8回目のグループワーク「教室参加当初からどう変わったか」などにおける参加者の声等から拾う
-----------------	---

○その他

写真・ビデオ	1回目と終了時の個人の表情の違いも評価の1視点に。表情の変化に着目。動画撮影での比較も効果的。
--------	---